

Q25b

The X-ray Pulsars in the Northern Part of the SMC

辻本匡弘（京大理）、今西健介（京大理）、横川淳（京大理）、小山勝二（京大理）

昨年の小マゼラン雲でのパルサーラッシュ（昨年秋の学会で報告）で発見された X 線パルサーの詳細な解析結果を報告する。今回紹介するのは「あすか」で観測された小マゼラン雲の北部に位置する 3 つの X 線パルサーである。これらはいずれも連星系パルサーであるが、それぞれ以下のような特徴を持っている。

- 1, 1SAX J0103.2-7209 パルス周期とフラックスの時間変動が大きい。SNR と付随している可能性もある
- 2, AX J0058-7203] ROSAT の観測との比較から激しい強度変動を示すパルサー
- 3, RX J0059.2-7138] スペクトルに soft excess が見られる